

2024年度

事業報告書

2024(令和6)年4月1日



2025(令和7)年3月31日

2024年度事業報告について

第一部 西南女学院の概要

1. 法人の概要	...	3
2. 設置する学校の概要及び教育目的	...	3
3. 主要行事	...	5
4. 宗教教育活動	...	6
5. 学生・生徒・園児	...	11
(1) 志願者数 (2) 在籍者数 (3) 卒業生数		
6. 教職員組織	...	13
(1) 教職員数 (2) 組織図		
7. 役員	...	18
8. 評議員	...	19
9. 理事会議案及び決議	...	20

第二部 事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要	...	24
2. 財務の概要(2024年度予算の主な執行状況)	...	26
(1) 資金収支計算 (2) 事業活動収支 (3) 貸借対照表		
(4) 学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

2024年度事業報告について

2025年5月

学校法人西南女学院

理事長 向 雅彦

西南女学院は、1899年から20年間にわたり熊本で宣教活動を行った米国南部バプテスト海外伝道局宣教師L. D. クラーク師の祈り「日本婦人に教育と伝道を」を継承し1922年4月、J. H. ロウ宣教師によって「キリスト教に基づく女子教育を行うこと。」を目的として創立されました。以来、今日まで皆様のご支援を賜り2024年4月18日には、創立102年目を迎えることができました。ひとえに西南女学院を信頼し、学生、生徒、園児を西南女学院におくってくださいます保護者の皆様と地域の皆様の深いご理解の賜と感謝いたしております。

本学院では、「学校法人西南女学院 中期計画 Mission「要」(2022-2026)」を掲げ、①教育の質保証、②財政基盤の安定、③地域社会との共生を柱とした学校運営を行っているところでございます。本学院で学ぶ皆さんに学びによる自らの成長を実感していただけるよう、教育内容や教育体制が本学院の教育理念に照らして不断に検証しながら、時代にふさわしい教育・研究活動を通じて「感恩奉仕」の精神を身に着けた有為な女性を社会に送り出し続けています。

当年度は、大学および短期大学部において、「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える私立大学等戦略的経営改革支援」事業に申請し、採択されました。本学院では、教育の質のさらなる向上と、将来を見据えた持続可能な経営の実現に向けた取り組みを進めております。加えて、大学が推進する「地域総キャンパス」の取り組みが教育学術新聞に掲載されるなど、地域とともに学び、成長する教育体制が広く注目を集めています。これらは、これまで本学院が培ってきた教育の質と社会的貢献の成果を示すものであり、今後のさらなる展開に向けた確かな歩みであると確信しております。

中学校・高等学校では、聖書に基づく人間観、社会観、人生観、生命観、倫理観等を教え育む教育を行うことを念頭に、生徒自身の目的を達成できるよう教育を継続しています。高等学校進路につきましては国公立をはじめ難関私立大学に合格しました。幼稚園では、聖書に基づく人間観、社会観、人生観、生命観、倫理観等を教え育む教育内容が地域のご家庭にご支持をいただいております。園児数・財政ともに安定しております。

また、短期大学部においては、2023（令和5）年度に、2025（令和7）年度以降の学生募集を停止することを決定いたしました。保育科が担ってきたキリスト教保育の理念に基づく保育者養成という使命と、これまで築いてきた豊かな実績は、大学における幼児教育・保育分野において発展的に継承されております。現在は、保健福祉学部福祉学科の子ども家庭福祉コースをさらに発展させ、幼稚園教諭免許状の取得を含めたカリキュラムの再整備を行い、教育内容の充実と専門性の深化を図りながら、社会の保育ニーズに的確に応える取り組みを進めております。

2024年度の事業及び決算につきましては、教育研究における重点分野及び学生生徒の人員等について事業計画を立て実施してまいりました。本報告書の「第二部 事業の概要・財務の概要」において詳細をご報告申しあげておりますのでご高覧ください。

西南女学院といたしましては、今日の就学事情や社会の構造的な変化に伴い、経営の安定化について、意識を強く持ち学校経営を行うことがますます必要になったと考えておりますが、学生、生徒、園児並びに保護者の皆様からのご満足を頂けることを第一義とした教育に専心してまいります。

これからも主のご恩寵に感謝し、西南女学院でなければならない特色ある女子教育の実践として、教育の質の向上、環境の整備、一人ひとりを大切にする教育に邁進する所存でございます。関係の皆様には、今後ともご後援賜りますようお願い申しあげ、2024年度の事業報告とさせていただきます。

第一部

西南女学院の概要

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「感恩奉仕」

神さまをはっきりと心に宿せば宿すほど、私たちの心に“有難い”という感じが湧いてきます。家族がどれほど有難いものか、この世界に生まれたことがどれほど有難いものかがよく解ってきます。“有難い”との感が起こると、進んで親のために兄弟のために又は社会のために小さい事でも出来る限り働いて差し上げようとの感じが起こってきます。この“有難い”という気持ちを西南女学院では『感恩』といい、他者のために働く事を『奉仕』といいます。

この理念は、学生・生徒・園児の教育理念であると同時に、西南女学院の教育活動に参画している全ての職員の職務理念であります。

西南女学院は、キリスト教に基づく使命感、優れた教養と知識と技能をあわせもつ女性を育成するために、各学校の一層の充実を図りながら総合的な学園として発展し続けています。

(2) 沿革

1922(大正11)年	西南女学院設立(5年制高等女学校)
1938(昭和13)年	財団法人西南女学院設立
1946(昭和21)年	西南女学院専門学校設置(英語科・生活科)
1947(昭和22)年	学制改革により西南女学院中学校設置
1948(昭和23)年	学制改革により西南女学院高等学校設置
1950(昭和25)年	西南女学院短期大学設置(英語科・家政科)
1951(昭和26)年	学校法人西南女学院設立
1952(昭和27)年	西南女学院幼稚園設置
1958(昭和33)年	西南女学院短期大学保育科設置
1971(昭和46)年	西南女学院短期大学食物栄養科設置
1994(平成6)年	西南女学院大学保健福祉学部設置
2002(平成14)年	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置(短期大学食物栄養学科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院大学人文学部人文学科設置(短期大学英語科を改組)
2002(平成14)年	西南女学院短期大学家政科を生活創造学科に名称変更
2003(平成15)年	西南女学院短期大学英語科、食物栄養科廃止
2004(平成16)年	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
2004(平成16)年	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
2006(平成18)年	西南女学院大学人文学部英語学科及び観光文化学科設置(人文学部人文学科を改組)
2008(平成20)年	西南女学院大学助産別科開設
2018(平成30)年	西南女学院大学短期大学部生活創造学科廃止
2022(令和4)年	西南女学院創立100周年記念式典挙行

2. 設置する学校の概要及び教育目的

※括弧内の数字は2024年度収容定員

(1) 西南女学院大学

西南女学院大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、キリスト教を教育の基盤として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展とに貢献する有為の人物を育成することを目的としています。

□ 保健福祉学部

保健福祉学部は、豊かな教養と倫理観を培い、看護、福祉、栄養の知識と技術を教授し、専門職者としての実践力と協働力を育むとともに、平和を愛するグローバルな視野をもって人々の幸福、地域と社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

■ 看護学科(360)

看護学科は、看護に関する専門的知識、技術を修得し、看護実践者として、保健、医療、福祉、教育等の幅広い分野で地域や社会に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 福祉学科(320)

福祉学科は、ヒューマンサービスの専門職に必要な知識・技術を修得し、想像力と創造力をもって、福祉、教育、保育等の幅広い分野で地域や社会に広く貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 栄養学科(400)

栄養学科は、「人」と「食」の両面より、栄養に関する専門的な知識・技術を総合的に理解・修得し、保健、医療、福祉などの幅広い分野において、人々の健康の保持増進、疾病の予防・治療に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 人文学部

人文学部は、豊かな人間性を養い、礼節を身につけ、専門的能力をもってグローバル化、情報化が進む国際社会及び地域社会において主体的に活動し、貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 英語学科(240)

英語学科は、異文化理解を踏まえた英語によるグローバル・コミュニケーション能力をもち、国際的視野と地域的視野に立って思考し、自主的に行動できる有能な人材を育成することを目的としています。

- 観光文化学科(240)

観光文化学科は、語学力を基礎として、グローバル化する社会において、自らを客観的に認識する視点をもち、異文化理解、国際社会理解ができ、ツーリズムと地域の発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。

- 助産別科(16)

助産別科は、助産の対象である女性、乳幼児及びその家族を全人的に理解するとともに、助産の知識と実践力を有し、専門職として自立した助産師を育成することを目的としています。

(2) 西南女学院大学短期大学部

西南女学院大学短期大学部は、キリスト教を教育の基本として女子に高い教養を授けるとともに生活に必要な専門の教育を施し、よき社会人を育成することを目的としています。

- 保育科(200)

保育科は、豊かな教養と専門知識をもって、自ら思考し判断できる保育の専門家を育成することを目的としています。

(3) 西南女学院高等学校 全日制課程 普通科(480)

西南女学院高等学校は、キリスト教に基づき女子の人格完成を旨とし、教育基本法、学校教育法及びその他の教育に関する法令により高等普通教育を行うことを目的としています。また、入学者のうち西南女学院中学校を卒業した者に対して、その中学校における教育とあわせた中高一貫教育（併設型高等学校）を行います。

(4) 西南女学院中学校(240)

西南女学院中学校は、キリスト教に基づき心身の発達に応じて、女子の人格を養成することを旨とし、教育諸法令に則り、西南女学院高等学校における教育を合わせた、中高一貫教育（併設型中学校）を行うことを目的としています。

(5) 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園は、教育基本法、学校教育法並びに幼稚園教育要領に基づき学齢未満の幼児を、キリスト教精神をもって保育し、適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的としています。あわせて、西南女学院大学短期大学部の附属施設として、幼児教育に関する研究並びに保育科学生の実習機関としての役割を果たしています。

3. 主要行事 2024(令和6)4.1~2025(令和7)3.31

- | | |
|---|---|
| <p>4.1 辞令交付
 新任職員オリエンテーション
 新任職員オリエンテーション聖書学課</p> <p>2 大学・短期大学部入学式</p> <p>5 短期大学部前期授業開始</p> <p>6 中学・高校始業式</p> <p>8 大学前期授業開始
 中学入学式
 高校入学進級式
 幼稚園始園式</p> <p>12 幼稚園入園式</p> <p>18 創立102周年記念式典</p> <p>25 第1回学院聖書学課</p> <p>5.15 短期大学部ミッションデー</p> <p>16 大学ミッションデー</p> <p>17 墓前祈祷会</p> <p>22 常任理事会、理事会、評議員会
 短期大学部ミッションデー</p> <p>23 大学ミッションデー</p> <p>6.1 文化祭</p> <p>6 中学・高校ミッションマンス①</p> <p>13 中学・高校ミッションマンス②</p> <p>15 大学オープンキャンパス</p> <p>20 中学・高校ミッションマンス③</p> <p>7.7 大学オープンキャンパス</p> <p>13 中学・高校オープンスクール</p> <p>18 第2回学院聖書学課
 幼稚園終園式</p> <p>20 中学・高校終業式</p> <p>8.1 職員研修会(幼稚園)</p> <p>17 大学オープンキャンパス</p> <p>20 職員研修会(中学・高校)</p> <p>22 職員研修会(大学・短期大学部、事務・労務)
 中学・高校始業式</p> <p>24 高校オープンスクール</p> <p>27 幼稚園始園式</p> <p>9.13 常任理事会、評議員会、理事会</p> <p>21 助産別科推薦選抜
 中高オープンスクール</p> <p>24 大学・短期大学部後期授業開始</p> <p>26 大学前期末卒業式</p> <p>28 幼稚園運動会</p> | <p>10.2 辞令交付</p> <p>9 中学・高校ミッションウイーク①</p> <p>10 中学・高校ミッションウイーク②</p> <p>11 中学・高校ミッションウイーク③</p> <p>12 高校オープンスクール</p> <p>17 第3回学院聖書学課</p> <p>19 大学総合型選抜、助産別科一般選抜</p> <p>26 大学祭(27日迄)</p> <p>11.6 短期大学部ミッションデー</p> <p>7 大学ミッションデー</p> <p>13 短期大学部ミッションデー</p> <p>14 大学ミッションデー
 中学・高校クリスマスツリー点灯式</p> <p>15 大学公募等推薦選抜、社会人・外国人留学生選抜</p> <p>16 大学指定校・併設校推薦選抜</p> <p>22 常任理事会、理事会、評議員会</p> <p>27 大学・短大クリスマスイルミネーション点灯式</p> <p>12.5 第4回学院聖書学課</p> <p>6 幼稚園クリスマス礼拝</p> <p>11 常任理事会、理事会</p> <p>12 中学・高校クリスマスツリー礼拝</p> <p>18 幼稚園クリスマス祝会</p> <p>19 大学クリスマス礼拝</p> <p>20 幼稚園終園式</p> <p>21 大学公募推薦選抜②、総合型選抜②、
 大学編入学選抜
 中学・高校終業式</p> <p>25 大学・短期大学部冬期休業(1月5日迄)</p> <p>1.4 中学前期入学試験</p> <p>6 大学・短期大学部後期授業再開</p> <p>8 中学・高校始業式</p> <p>9 幼稚園始園式</p> <p>24 高校推薦入学試験</p> <p>31 大学一般選抜(前期)</p> <p>2.1 中学校後期入学試験</p> <p>4 高校一般入学試験</p> <p>7 幼稚園生活発表会</p> <p>20 常任理事会、理事会
 第5回学院聖書学課</p> <p>3.1 中学・高校卒業式</p> <p>3 大学一般選抜(後期)</p> <p>7 幼稚園卒園式</p> <p>12 常任理事会、理事会</p> <p>19 大学・短期大学部卒業証書・学位記授与式
 中学・高校終業式
 幼稚園終園式</p> <p>21 理事会、評議員会</p> <p>31 辞令交付</p> |
|---|---|

4. 宗教（キリスト教）教育活動（2024年度学院宗教委員会報告より抜粋）現状と展望

(1)2024年度 年間主題と年間聖句、月間主題と月間聖句

年間主題 「主に望みをおいて歩む」

年間聖句 主に望みをおく人は新たな力を得驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れない。
イザヤ書40章31節

【教育:4-7月】

4月「学院の教育の原点」

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。ローマの信徒への手紙 12章12節

5月「学院の教育の継承」

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け わたしの救いの右の手であなたを支える。イザヤ書 41章10節

6月「学院の女子教育」

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」ルカによる福音書 6章31節

7月「学院の礼拝」

感謝の歌をうたって主の門に進み 賛美の歌をうたって主の庭に入れ。感謝をささげ、御名をたたえよ。
詩編 100編4節

【世界を覚えて 8-11月】

8月「平和」

どうか、平和の主御自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和をお与えくださるよう。主があなたがた一同と共におられるように。テサロニケの信徒への手紙二 3章16節

9月「神の愛」

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。
コリントの信徒への手紙一 13章13節

10月「環境と生活」

「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。」ヨハネの黙示録 4章11節

11月「隣人を覚えて」

あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。
ローマの信徒への手紙 12章2節

【喜び 12-2月】

12月「キリストの誕生」

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。ヨハネによる福音書 3章16節

1月「キリストにある希望」

あなたの重荷を主にゆだねよ 主はあなたを支えてくださる。主は従う者を支え とこしえに動揺しないように計らってくださる。詩編 55編23節

2月「魂の深まり」

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。コリントの信徒への手紙二 4章18節

【派遣 3月】

3月「世界に向かって羽ばたく」

国々に主の栄光を語り伝えよ 諸国の民にその驚くべき御業を。詩編 96編3節

(2) 全体的総括と展望

2024年度は「主に望みをおいて歩む」を年間の主題とし、聖句はイザヤ書40章31節コロサイの信徒への手紙3章14節「主に望みをおく人は新たな力を得 驚のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れな

い。」であった。
先の大戦以降、平和の尊さが唱えられ、インクルーシブな社会を創り上げていこうとする流れも見える一方で、命が軽んじられる戦争が世界でいまだに続いているその現実、悲しみ以外の何ものでもない。国内においても大きな災害に見舞われ、明日生きる希望をも絶たれている人々のことを覚えると胸が痛むばかりである。希望をどこに持ったらよいのか。そして私たちにできることは何なのかを考え、祈り、心を寄せる一年であった。

学生・生徒・園児にも悩みがない者はなく、毎日何らかの選択と決断をしながら今日を生き、成長している。その中であって、女学院として、その一人ひとりにどう向き合い、何をもって応えるのかというのは、言うなれば彼女らの人生観をも左右することであり、その責任は大きいものである。知識とスキルだけを提供すればそれでよいということではない。創造主である神、その愛にこそ命を与える力があり、それによって希望を持ち、他者と共に生きる道を一人ひとりが見出すこと。このミッションが私たちに課せられていることを今一度心に留めたい。

建学の精神「感恩奉仕」と主題をまことに生きる言葉として受けとめ、歩み続けたいと思うものである。

尚、各所属における宗教教育及び活動取り組み実績については、以降に記すものとする。

<各所属の主な宗教教育>

◎本部キリスト教センター

キリスト教センターは、「ミッション活動の拠点」として「建学の精神を高揚し具現化する」ことを通して「学院の発展に資する」ことを設立目的とする(キリスト教センター規則第2条)とあるように、学生・生徒・園児がキリスト教に関心を持ち、建学の精神「感恩奉仕」の精神を価値基準として、神と人にと仕える人となれるよう、キリスト教教育活動を行っている。キリスト教センターの活動範囲は全学院に及ぶ。詳細は以下のとおりであり、その一つ一つにおいて主の御旨に合うものとなることを常に祈り、整えられ、活動が豊かに守られたことに感謝したい。

今後は、各校の枠を超えて全学的にキリスト教教育を拡充していけるよう推進していきたい。具体的には近隣教会と協働し、また日本バプテスト宣教団宣教師の方々との関係を緊密に保ちつつ、感謝と奉仕の心をもって行動できる人間形成を目指していきたい。

1. 祈りと学び

- 新任職員オリエンテーション聖書学課:新任職員に西南女学院の建学の精神とその根幹であるキリスト教の価値観と基礎的知識を提供する場であり、約1時間半の短い時間の中で実施した。
- 学院聖書学課(年5回):全職員が等しく集まり、礼拝をもって神を讃美し、キリスト教についての理解と学院で働く意義をより深める学びの場として実施した。詳細は以下のとおり。

回	月日	奨励者	主題・聖書	司会	奏楽	参加者
1	4/25 (木)	村瀬 泉氏 学院宗教主任/キリスト教センター長	「主に望みをおいて歩む」 イザヤ書 40 章 28～31 節	東 彩子 大学・大学短期大学部宗教主事/短期大学部保育科准教授	金谷 めぐみ キリスト教センター音楽主事/福祉学科講師	97名 講師含む
2	7/18 (木)	佐藤 清一氏 日本バプテスト荊田キリスト教会牧師/女学院評議員/中高聖書科非常勤講師	「しかし、勇気を出しなさい」 ヨハネによる福音書 16 章 33 節	藤田 稔子 大学短期大学部宗教主事補/短期大学部保育科准教授	佐野 智江 中高教諭	47名 講師含む
3	10/17 (木)	久多良木 和夫氏 日本基督教団北九州復興教会牧師/東京聖書学校教授/女学院評議員	「天に備えられた住まい」 ヨハネによる福音書 14 章 1～7 節	松下 範枝 中高校長/宗教部長	文屋 典子 大学福祉学科講師	56名 講師含む
4	12/5 (木)	塩屋 優子氏 ウェスレアン・ホーリネス教団戸畑高峰教会牧師/女学院理事・評議員/中高聖書科非常勤講師	「クリスマスの喜び」 ルカによる福音書 2 章 8～20 節	村瀬 泉 学院宗教主任/キリスト教センター長	山路 麻佳 短期大学部保育科講師	38名 講師含む
5	2025年 2/20 (木)	Russ Borg 氏 学院宗教主任補佐/ 日本バプテスト宣教団宣教師	「福音の力」 ローマの信徒への手紙1章 16 節	神崎 明坤 大学宗教主事補/ 観光文化学科教授	金谷 めぐみ キリスト教センター音楽主事/福祉学科講師	46名 講師含む

●墓前祈祷会

学院の礎を積み上げて来られた先達者を偲び、祈りをささげるため、5月17日(金)7時30分より教職員で集い実施した。村瀬泉学院宗主任/キリスト教センター長により「宣教師が齎(もたら)したもの、遺(のこ)したもの」と題してヨハネによる福音書11章25節bを基に奨励を行った。

●北陵教職員の朝の礼拝

密集せず、感染防止対策を講じた上で、月・水・金に実施した。

●教職員祈祷会

中学校・高等学校では月1回実施し、本部・大学・短期大学部では、毎月初日、朝の礼拝時に「月初め祈祷会」として実施した。

2. チャペルアワー、礼拝

キリスト教教育において核となる礼拝である。園児・生徒・学生たちが神様から多くの恵みをいただき、感謝と祈りをささげる時となった。詳細は後述の各校実績をもって報告とする。

3. 諸教会他、地域との協力関係

●「教会案内」

従来通り中高・大学・短期大学部での「教会訪問」を実施した。中高生には冊子を配布、大学・短大生にはユニバーサル・パスポートにてPDFを配信した。

●教会との関係性

- キリスト教センター長と中・高校長の連名による挨拶文書の発送に始まり、教会からの各種希望に応じ適宜対応する形でコミュニケーションを図った。
- 年末年始の挨拶を含むクリスマスカードの発送を行なった。
- 北九州地区牧師連絡会を2025年3月25日(火)10:00~11:30マロリー館2階本部会議室にて開催した。北九州近郊(一部下関・大分・福岡エリアまで含む)プロテスタント系の111教会へ案内を出し、うち16教会の19名の牧師(教会主事・代表役員・教会学校代表含む)が出席してくだり、良き交流をもつことができた。女学院のキリスト教教育は近隣教会との関係性を保ってこそ成り立つものと言える。コロナ禍以前は連絡会ではなく交流会として行っていたが、5年ぶりに牧師の先生方が女学院に集う貴重なときとなり感謝であった。
- クリスマス募金については、例年通り各校ごとに募金の呼びかけを行い、その全額を主にキリスト教関係の施設等団体へと献げることができた。

4. 教職員の主体的な活動

- 中学校・高等学校では、定例として、月の第一火曜日朝に「月初め祈祷会」がもたれた。

- 同窓生主体として開始された「西南女学院100周年有志祈祷会」を引き継ぎ、「西南女学院祈祷会」として有志により中学校・高等学校会議室において5月16日(木)、6月20日(木)、9月19日(木)、11月21日(木)、1月16日(木)の5回。

また、北陵においては、聖書学課後にカフェスタイルで、4月25日(木)、7月18日(木)、10月17日(木)、12月5日(木)、2月20日(木)の5回を実施した。尚、このカフェに関して茶菓の奉仕をしてくださった塩屋優子氏、山崎工氏、徳重まや氏、関友梨亜氏にはとりわけ感謝したい。

5. キリスト教センター主催の活動

- キリスト教センターだよりの発行

今年度も3号(123春号、124秋号、125号冬号)を発行し、学院内における学生・生徒・園児・教職員それぞれの視点で諸活動を通して得られた恵みを綴っていただいた。また、近隣教会の方々にも生徒・学生への招きの案内文を寄稿していただき、地域とのよき関係が徐々に広げられている。

6. ハンドベルクワイヤー

顧問:金谷めぐみ氏、指導:山路麻佳氏、外部コーチ:美登恭子氏

部員:9名(大学4年3名、大学2年3名、大学1年3名)

週二回の練習を行い、年度の中で徐々に複数名の部員も与えられた。

主な演奏活動としては次のとおり。

学内においては、創立記念日、ミッションデー、クリスマス礼拝で演奏を行った。

学外においては、2024年9月23日(月)戸畑市民会館(ウエル戸畑大ホール)にて開催の第28回九州ハンドベルフェスティバルに参加した。

また、2024年11月2日(土)リバーウオーク北九州イルミネーション点灯式にて演奏を行った。

◎大学・短期大学部

1. チャペルアワー

【短期大学部】(水曜日10:50~11:50)
1,2年合同でマロリーホールにて実施。

【大 学】(木曜日10:50~11:50)
看護学科、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科の各1年生、助産別科の学生がマロリーホールにて実施。2、3、4年生は任意での参加とした。

2. 春季ミッションデー

<ミッションデー第1週> 短期大学部:5月15日(水)、大学:5月16日(木)
奨励:才藤 千津子(西南学院大学教授 神学部長)
奨励題:「呼ばれています~私のライフ・デザイン」
聖書:イザヤ書43章1~2節、4節a 新生讃美歌:105番、552番

<ミッションデー第2週> 短期大学部:5月22日(水)、大学:5月23日(木)
奨励:Charushree Mohanty(プリキンダーガルテンスクール教師) [Dibya Prathama Mohanty(長女)]
奨励題:「You are precious and valuable」
聖書:イザヤ書43章7節 新生讃美歌:105番、301番

3. 秋季ミッションデー

<ミッションデー第1週> 短期大学部:11月6日(水)、大学:11月7日(木)
奨励:宮本 隆治(元NHK アナウンサー)
奨励題:「ゆとり ユーモア 帰りは元気~神様からの贈り物~」
聖書:ヨハネによる福音書1章1~5節 新生讃美歌:さやかに星はきらめき、173番

<ミッションデー第2週> 短期大学部:11月13日(水)、大学:11月14日(木)
奨励:原田 昌樹(北九州希望の光キリスト教会牧師/認定NPO 法人フードバンク北九州ライフアゲイン)
奨励題:「愛がなければ何の役にも立たない」
聖書:コリントの信徒への手紙一13章1~7節 新生讃美歌:さやかに星はきらめき、173番

4. クリスマス礼拝

日 時:2024年12月19日(木)13:00~15:00
場 所:北九州ソレイユホール
メインテーマ:『クリスマスの光』
内 容:学生による平和のスピーチ、生誕劇、聖歌隊、ハンドベル演奏等による賛美
奨励:ドン・ブローカー先生(日本バプテスト宣教団宣教師/業務執行理事)
奨励題:「全ての人々への平和と希望という神の贈り物」 ルカによる福音書2章8~14節

5. 送別礼拝

奨励:本山 大輔先生(日本バプテスト連盟豊前キリスト教会牧師/大学非常勤講師)
【短期大学部】1月17日(水)「愛すること、愛されること」マタイによる福音書7章9~12節
【大 学】1月18日(木)「ありがとう」テモテへの手紙一1章12節
新生讃美歌21番、73番

6. 講義

以下のように実施した。

- ・短期大学部:「キリスト教学Ⅰ」、「キリスト教学Ⅱ」、「キリスト教保育」
- ・大 学:「キリスト教学(旧約聖書)」、「キリスト教学(新約聖書)」、「キリスト教と西南女学院のあゆみ」、「キリスト教と文化」、「キリスト教と現代」、「キリスト教と生命倫理」

◎中学校・高等学校

1. 礼拝

- ・全体礼拝 木曜日 8:55~9:40 ロウ記念講堂にて実施
- ・クラス礼拝 月・火・水・土曜日 8:40~8:50(各教室)
※土曜日のみ 1年 学年礼拝 8:35~8:50(教室)
2~6年 クラス礼拝 8:40~8:50(各教室)
- ・放送礼拝 金曜日 8:35~8:50 (各教室)

2. ミッションマンズ ロウ記念講堂

第1回 6月6日(木)田中 綜二 先生(西南女学院院長)

主題:「小さい者のひとりに」 聖書:ヨハネの手紙一4章9～11節 讃美歌:新生讃美歌523番

第2回 6月13日(木)久多良木 和夫 先生(日本基督教団北九州復興教会牧師)

主題:「起きて食べよ」 聖書:列王記上19章1～10節 讃美歌:新生讃美歌431番

第3回 6月20日(木)谷本 仰 先生(南小倉バプテスト教会牧師)

主題:「みんな夜明けを宿している」 聖書:マタイによる福音書5章14節 a 讃美歌:新生讃美歌21番

3. ミッションウイーク ロウ記念講堂

篠原 健治 先生(日本バプテスト連盟福岡国際キリスト教会 元主任牧師)

総主題 「与えられた『命』と『今』を生きる」

10月 9日(水)「後悔しない人生とは」 聖書:マタイによる福音書26章69～75節

10月10日(木)「悲嘆は悲嘆で終わらない」 聖書:マタイによる福音書5章4節

10月11日(金)「今を生きる」 聖書:マタイによる福音書6章25～34節)

準備祈祷会 : 2024年10月9日(水)、10日(木)朝7:55～

4. クリスマス礼拝 12月12日(木)11:00～12:20 ロウ記念講堂

<第1部> 講師:伊藤 光雄 先生(姪浜バプテスト教会協力牧師)

主題:「インマヌエル」 聖書:マタイによる福音書1章18～23節

<第2部>13:30～ DVD「WAR ROOM」(祈りのちから)鑑賞

5. 卒業礼拝 2月21日(月) ロウ記念講堂

講師:村瀬 泉 先生(西南女学院宗教主任・キリスト教センター長)

主題:「いつも共におられる神」 聖書:ヨハネによる福音書16章33節 讃美歌:新生讃美歌559番、674番

6. 授業 聖書科授業によって、生徒がキリスト教の知識を学び、正しい聖書解釈ができるようにしている。

◎幼稚園

礼拝等キリスト教行事

5/23(木) ファミリー礼拝(縦割りグループ)

6/13(木) 花の日礼拝

6/27(木) ファミリー礼拝(ひよこグループ)

9/13(金) 敬老礼拝

11/6(水) 収穫感謝礼拝

12/2(月) 保護者クリスマス礼拝 9:30～

奨励: 塩屋 優子先生 (ウェスレアン・ホーリネス教団戸畑高峰教会牧師)

12/6(金) クリスマス礼拝 10:00～ 日本バプテストシオン山教会にて

奨励: 本山 大輔先生 (日本バプテスト連盟豊前キリスト教会牧師)

主 題: 「小さなクリスマス」

聖 書: ルカによる福音書 2章10節～12節

参 加: 全園児と保護者

12/18(水) クリスマス祝会

5. 学生・生徒・園児

(1) 志願者数

2024(令和6)年5月1日現在

学 校 名		入学定員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保健福祉学部	看護学科	90	42 (6)	185 (4)	42 (6)	53 (3)
		福祉学科	80	42 (1)	82 (3)	42 (1)	27 (2)
		栄養学科	100	32 (0)	40 (0)	32 (0)	5 (0)
		計	270	116 (7)	307 (7)	116 (7)	85 (5)
	人文学部	英語学科	60	22 (0)	42 (1)	21 (0)	11 (1)
		観光文化学科	60	30 (0)	48 (0)	30 (0)	20 (0)
		計	120	52 (0)	90 (1)	51 (0)	31 (1)
	助産別科		16	30	43	8	8
	小計		406	198 (7)	440 (8)	175 (7)	124 (6)
	累計		406	638 (15)		299 (13)	
短期大学部	保育科	100	32 (0)	36 (0)	32 (0)	25 (0)	
	累計	100	68 (0)		57 (0)		
高等学校	一般中学より	80	11	65	11	12	
	西南女学院中学より	80	27		27		
	計	160	103		50		
中学校		80	77		21		
幼稚園		満3歳児 15	満3歳児	14	満3歳児	14	
		3歳児 25	3歳児	10	3歳児	10	
		4歳児 10	4歳児	2	4歳児	2	
		5歳児 若干	5歳児	1	5歳児	1	

【注】 ()内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

大学一般選抜には、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜及び外国人留学生選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部推薦選抜には、総合型選抜の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部一般選抜には、特待生選抜、社会人選抜、大学入学共通テスト利用選抜の志願者数・入学者数を含む。

幼稚園満3歳児は5月2日以降に入園予定の14名を含む。

(2) 在籍者数

学 校・学科等		新 入 生	総 数	
			2024. 5. 1 現在	2025. 3. 31 現在
大 学	看 護 学 科	101	366 (7)	363 (2)
	福 祉 学 科	99	297 (1)	290 (1)
	栄 養 学 科	48	173 (2)	169 (3)
	英 語 学 科	38	118 (2)	116 (2)
	観 光 文 化 学 科	35	154	151
	助 産 別 科	16	17	17
	計	337	1, 125 (12)	1, 106 (8)
大 学 短 期 部	保 育 科	-	90	88
	計	-	90	88
中・高 4 5 6 年		73	153	148
中・高 1 2 3 年		21	83	76
幼 稚 園		12	90	93
合 計		443	1, 541 (12)	1, 511 (8)

(注) 休学者は在籍数の隣に()を付して内数で示す。

(3) 卒業生数

2025(令和7)年5月1日現在

2024年度卒業生		人 員	累 計	旧制女学校卒業生		累 計
学 校 名				専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	
幼 稚 園		30	3, 859	女 学 校		2, 147
中 学 校		28	12, 518	専 門 学 校 累 計 (203)	英 語 科	87
高 等 学 校		54	14, 512		生 活 科	116
大 学 短 期 大 学 部	(英 語 科)	-	9, 460			
	生 活 創 造 学 科	-	10, 509			
	保 育 科	33	8, 565			
	(食 物 栄 養 科)	-	4, 032			
	計	33	32, 566			
大 学	看 護 学 科	90	2, 525			
	福 祉 学 科	77	3, 118			
	栄 養 学 科	54	1, 784			
	英 語 学 科	36	715			
	観 光 文 化 学 科	37	1, 019			
	人 文 学 科	-	388			
	助 産 別 科	17	278			
計	311	9, 827				
合 計		456	73, 282	合 計		2, 350
総 数 (卒業生総数)			75, 632			

(注) 中学校卒業生41名の中、内部高校進学者数39名

6. 教職員組織

(1) 教職員組織

2024(令和6)年5月1日現在

< 職員 >

本 部

院長・事務局長・課長・室長			書記	書記補	教育支援職員	計
院長	田中綜二	1				1
学院宗教主任	村瀬 泉	※				—
事務局長	五十嵐勝	1				1
事務局次長	中島 徹	1				1
総務課長	酒井 崇	1	2			3
人事給与課長	酒井 崇	※	2			2
経理課長	中島 徹	※				—
施設課長	中村洋介	※				—
経営企画課長	鮫島浩昭 大野 剛	2				2
広報課長	北山博英	1	1			2
初任教員事務室長	山本淳之	1			1	2
本 部			1			1
小 計	8		6		1	15

【注】※印は学内兼務者を示す。

< 教 員 >

大 学

学 長 浅 野 嘉 延		宗教主事 東 彩 子										
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計	
学 長	教授 浅野嘉延	1							1		1	
副 学 長	教授 伊藤直子		1						1		1	
保健福祉学部	学 部 長	教授 伊藤直子		※					—		—	
	看護学科	教授 目野郁子			9	2	8	6	9	34	1	35
	福祉学科	教授 荒木 剛			7	4	7	1	1	20		20
	栄養学科	教授 若菜啓孝			10	4	3		2	19	1	20
人文学部	学 部 長	教授 八尋春海		1					1			
	英語学科	教授 マルコム・ロス・スワンソン			6		2		8	1	16	
	観光文化学科	教授 劉 明			4	2			6			
助産別科	教授 伊藤直子			1		2	2	1	6		6	
小 計		1	2	37	12	22	9	13	96	3	99	

【注】※印は学内兼務者を示す。

短期大学部

学 長 浅 野 嘉 延		宗教主事 東 彩 子									
学長・副学長・学部長・学科長		学長	副学長 学部長	教授	准 教授	講師	助教	助手	計	教育 支援 職員	計
学 長	大学教 浅野嘉延	※							—		—
副 学 長	大学教 伊藤直子		※						—		—
学 部 長	教授 末寄雅美		1						1		1
保 育 科	教授 末寄雅美			3	4	3			10	2	12
小 計		—	1	3	4	3	—	—	11	2	13

【注】※印は学内兼務者を示す。

中学校・高等学校、幼稚園

校 長・園 長		教 頭	宗教 部長	校長 園長	副校長 副園長	教諭	常勤 講師	実習 助手	計
中学校・高等学校 校 長 松下範枝 副校長 山口哲蔵	高校	岩永和美	—	1	※	21	3	1	26
	中学	井上雄二							
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園 園長 磯部みゆき		—	—	1	—	7	—	—	8

【注】※印は学内兼務者を示す。

教 員 合 計

大 学	短期大学部	高校・中学	幼稚園	計
96	11	26	8	141

< 職 員 >

大 学

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	1 (1)	3 (3)				4 (4)
教務部	教務課	教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	1 (1)	4 (4)	1 (1)			6 (6)
学生部	学生課	教授 ※ 高崎智子	藤川信幸	1 (1)	2 (2)		1 (1)		7 (7)
	就職課		坂田美登里	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
事務部	庶務課	小川 尚	三浦千賀	1 (1)	2 (2)				1 2 (12)
	会計課		江山英子	1 (1)	2 (2)	1 (1)			
	施設課		中村洋介	1 (1)	1 (1)				
	情報システム 管理課		隅田直孝	※	2 (2)				
図書館	図書課	教授 ※ 木村政伸	垂水典子	1 (1)	1 (1)				2 (2)
	学生総合 支援室		教授 高崎智子	※				2 (2)	2 (2)
小 計		1 (1)	8 (8)		1 8 (18)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	3 3 (33)

【注】 ()内は本部又は短期大学部兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

短期大学部

部局等		部長・館長	課 長・室 長		書 記 司 書	書記補 司書補	再雇用	専門職員	計
入試部	入試課	大学教授 ※ 今村浩司	築別昇一郎	※					—
教務部	教務課	大学教授 ※ 太田かおり	隅田直孝	※					—
学生部	学生課	大学教授 ※ 高崎智子	藤川信幸	※					1 (1)
	就職課		坂田美登里	※	1 (1)				
事務部	庶務課	小川 尚 ※	三浦千賀	※					—
	会計課		江山英子	※					
	施設課		中村洋介	※					
	情報システム 管理課		隅田直孝	※					
図書館	図書課	教授 ※ 木村政伸	垂水典子	※					—
	学生総合 支援室		大学教授 高崎智子	※					—
小 計		—	—		1 (1)	—	—	—	1 (1)

【注】 ()内は本部又は大学兼務者を示す。 ※印は学内兼務者を示す。

7. 役員

【定数】理事16名 監事2名

2024(令和6)年5月1日 現在

理事／監事	氏名	常勤・非常勤の別	任期
理事長	向 雅 彦	常勤	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	田 中 綜 二	常勤 院長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
理事	村 瀬 泉	常勤 学院宗教主任	2024. 4. 1～2025. 3. 31
理事	浅 野 嘉 延	常勤 大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
理事	松 下 範 枝	常勤 中学校・高等学校校長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
理事	五十嵐 勝	常勤 事務局長	2017. 4. 1～
理事	伊 藤 直 子	常勤 大学保健福祉学部学長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
理事	八 尋 春 海	常勤 大学人文学部学長	2024. 4. 1～2026. 3. 31
理事	末 寄 雅 美	常勤 大学短期大学部学長	2024. 4. 1～2026. 3. 31
理事	塩 屋 優 子	非常勤 教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	舛 本 敬 子	非常勤 同窓会会長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	山 崎 工	非常勤 前同窓会会長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	植 田 浩 司	非常勤 元大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	渡 邊 仁	非常勤 元短期大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
理事	藤 本 新 二	非常勤 社会福祉法人理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
監事	大 熊 強	非常勤 保護司	2023. 4. 1～2026. 3. 31
監事	伊 東 幸 雄	非常勤 元事務部長	2023. 4. 1～2026. 3. 31

※役員の数と実数の差は兼務により理事定数を減じる規定による。(寄附行為第7条第2項)

◎ 役員賠償責任保険

保険種類：役員賠償責任保険（東京海上日動火災保険株式会社）

契約者：日本私立大学協会（団体）

被保険者：理事・監事、評議員、執行役員、退任役員及び法人

保険期間：2024年4月1日～2025年4月1日

総支払限度額：3億円

8. 評議員

【定数】36名

2024(令和6)年5月1日 現在

氏名	現職等	任期
向 雅 彦	理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
田 中 綜 二	院長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
村 瀬 泉	学院宗教主任	2024. 4. 1～2025. 3. 31
浅 野 嘉 延	大学長・ 大学短期大学部学長(兼)	2021. 4. 1～2025. 3. 31
松 下 範 枝	中学校・高等学校校長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
五十嵐 勝	事務局長	2017. 4. 1～
伊 藤 直 子	大学保健福祉学部長	2024. 4. 1～2025. 3. 31
八 尋 春 海	大学人文学部長	2024. 4. 1～2026. 3. 31
末 寄 雅 美	大学短期大学部長	2024. 4. 1～2026. 3. 31
植 田 浩 司	元大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
渡 邊 仁	元短期大学学長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
藤 本 新 二	社会福祉法人理事長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
今 村 浩 司	大学・短大入試部長(兼)	2023. 4. 1～2026. 3. 31
太 田 かおり	大学・短大教務部長(兼)	2023. 4. 1～2026. 3. 31
岩 永 和 美	高等学校教頭	2024. 4. 1～2026. 3. 31
井 上 雄 二	中学校教頭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
目 野 郁 子	大学看護学科教授	2023. 4. 1～2026. 3. 31
稲 木 光 晴	大学福祉学科教授	2023. 4. 1～2026. 3. 31
廣 川 智 美	幼稚園教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
赤 尾 優 奈	幼稚園教諭	2024. 4. 1～2026. 3. 31
佐 野 智 江	中学校・高等学校教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
内 田 絵理香	中学校・高等学校教諭	2023. 4. 1～2026. 3. 31
中 島 徹	本部経理課長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
築 別 昇一郎	大学・短大入試課長	2023. 4. 1～2026. 3. 31
塩 屋 優 子	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
舂 本 敬 子	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
山 崎 工	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
嶋 田 涼 美	卒業生	2023. 4. 1～2026. 3. 31
荒 瀬 謙 二	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
久多良木 和夫	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
佐 藤 清 一	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
中 村 和 光	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31
原 田 義 也	教会牧師	2023. 4. 1～2026. 3. 31

※評議員の定数と実数の差は兼務により評議員定数を減じる規定による。(寄附行為第25条第3項)

9. 理事会議案及び決議

2024(令和6)年4月～2025(令和7)年3月

第1回 2024(令和6)年5月22日(水)

- ・2023(令和5)年度事業報告及び決算等について
 - (1) 事業報告 承 認
 - (2) 決算報告 承 認
 - (3) 監事監査報告
- ・人事について 承 認
- ・2025年度大学・大学短期大学部学納金について 承 認
- ・西南女学院大学学則改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学学則改正(案)について
 - (1) 西南女学院大学学則(第5条の2、第5条の4、第5条の5)改正(案)について 承 認
 - (2) 西南女学院大学学則(別表第一)改正(案)について
- ・西南女学院大学「履修規程」の改正について 承 認
- ・西南女学院大学短期大学部学則の改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部 会議規則の改正(案)について 承 認

第2回 2024(令和6)年5月22日(水)

- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部中期計画「要」Transformation(2022-2026)の検証について 承 認
- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部中期計画「要」Transformation(2022-2026)2024年度版について 承 認
- ・グランドビジョン2030の策定について 承 認
- ・学校法人西南女学院中期計画(2022-2026)の検証について 承 認
- ・学校法人西南女学院中期計画(2022-2026)2024年度版について 承 認
- ・学校法人西南女学院寄附行為変更(案③)について 承 認

第3回 2024(令和6)年9月13日(金)

- ・人事について 承 認
- ・2024(令和6)年度補正予算(案)について 承 認
- ・2025(令和7)年度予算基本方針(案)について 承 認
- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部ガバナンス・コードの適合状況について 承 認
- ・経常費補助金 令和6年度少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援計画書(案)について 承 認
- ・西南女学院大学学則改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学助産別科規程改正(案)について 承 認
- ・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について 承 認

第4回 2024(令和6)年11月22日(金)

- ・ 寄附行為第6条第4項に規定する協議会の構成員(案)について① 承 認
- ・ 人事について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期院長候補者について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期学院宗教主任候補者について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期校長候補者について 承 認
- ・ 任期満了に伴うシオン山幼稚園の園長候補者について 承 認
- ・ 事務局長候補者推薦について 承 認
- ・ 西南女学院給与規程改正(案)について 承 認
- ・ 西南女学院育児・介護休業等に関する規程改正(案)について 承 認
- ・ 西南女学院育児・介護休業等に関する労使協定改正(案)について 承 認
- ・ 私立学校法改正及び寄附行為変更に伴う学院内規程の条数変更(案)について 承 認
- ・ 卒業延期制度に関する規程制定(案)について 承 認
- ・ 大学特別契約教員規程改正(案)について 承 認

第5回 2024(令和6)年11月22日(金)

- ・ 寄附行為第6条第4項に規定する協議会の構成員(案)について② 承 認

第6回 2024(令和6)年12月11日(水)

- ・ 人事について 承 認
- ・ 任期満了に伴う次期大学及び短期大学部学長候補者選考について 承 認
- ・ 中学校・高等学校副校長候補者推薦について 承 認
- ・ 2025(令和7)年度中学校・高等学校校納金(案)について 承 認

第7回 2025(令和7)年2月20日(木)

- ・ 西南女学院の今後について 継 続

第8回 2025(令和7)年3月12日(水)

- ・ 西南女学院中学校の生徒募集の停止について 継 続

第9回 2025(令和7)年3月21日(金)

- ・ 2025(令和7)年度事業計画及び当初予算(案)について 承 認
- ・ 人事について 承 認
- ・ 西南女学院大学の学則改正(案)について 承 認
- ・ 学則第2条の4に定める西南女学院大学の三つの方針の改正(案)について 承 認

・西南女学院大学「履修規程」の改正（案）について	承	認
・西南女学院大学「科目等履修規程」の改正（案）について	承	認
・西南女学院大学「聴講生規程」の改正（案）について	承	認
・2025（令和7）年度園納金（案）について	承	認
・不正防止対策の基本方針と不正防止計画（案）について	承	認
・内部統制システムの整備について	承	認
（1）学校法人西南女学院内部統制システムの整備の基本方針（制定案）について	承	認
（2）学校法人西南女学院コンプライアンス・マニュアル（制定案）について	承	認
（3）学校法人西南女学院コンプライアンス管理規程（制定案）について	承	認
（4）学校法人西南女学院コンプライアンス委員会規程（制定案）について	承	認
（5）学校法人西南女学院理事会業務及び理事会業務委任規則（改正案）について	承	認
（6）学校法人西南女学院理事会会議規則（改正案）について	承	認
（7）学校法人西南女学院評議員会運営規則（制定案）について	承	認
（8）学校法人西南女学院理事の職務権限規程（制定案）について	承	認
（9）学校法人西南女学院常任理事会規程改正案について	承	認
（10）学校法人西南女学院リスクマネジメント及び危機管理に関する基本方針（制定案）について	承	認
（11）学校法人西南女学院危機管理規程（制定案）について	承	認
（12）学校法人西南女学院監事監査（制定案）について	承	認
・学校法人西南女学院の経営における今後の改善計画（案）について	承	認
・2025年度役員賠償責任保険への継続加入について	承	認
・西南女学院中学校の生徒募集の停止について	継	続

第二部

事業の概要・財務の概要

1. 事業及び決算の概要

○ 事業について

本年度は、教育・研究環境の整備に係る重点項目について新規事業計画にかかる事業の計画を立てて予算の編成を行い、2024年度第2回評議員会及び第3回理事会において承認を受けて実施し、概ね計画どおりに完了しております。主な事業は次のとおりです。

〔法人本部〕

- ・広報、創立110周年記念募金募集要項制作・発送
- ・勤怠管理システム導入

〔大学・大学短期大学部〕

- ・6号館・図書館空調システム更新工事及び設計
- ・6号館屋上移動式粉末消火設備工事
- ・3・7号館給水加圧ポンプ取替工事
- ・7号館高圧電気ケーブル修繕工事
- ・中庭整備工事
- ・5号館演習室空調機取替工事
- ・1、2、6号館GHP空調機保守点検
- ・図書館情報管理システム
- ・図書館業務委託

〔中学・高校〕

- ・中学棟屋上防水工事
- ・中学体育館消防設備改修工事
- ・グラウンド横道路路盤整正工事

〔幼稚園〕

- ・管理棟雨漏り復旧工事及び防水工事

◇ 学校法人西南女学院中期計画に基づく事業計画の推進

本年度は、中期計画に基づく新規事業を実施しました。引き続き2022年度～2026年度の中期計画の5年間で集中的に取り組むべき目標を“Mission「要」”とし、3つのMissionを中心に取り組んでいます。Mission1では教育の質保証において学修成果を意識した教育の改善・向上を図ること及び教育環境の整備を実施し、老朽化した施設については、財源確保に努めながら計画的に整備しています。Mission2では、経営基盤の安定のため、ガバナンス強化及び財政の健全化に向け取り組んでいます。ガバナンスの強化については、大学において「ガバナンス・コード」を定め、毎年公表・検証を行っています。財政の健全化については、学校法人の永続性に鑑みた収入と支出に努めていますが、中期計画の数値目標は達成できず見直すことになりました。今後も引き続き収入に見合った支出の管理を行うと同時に収入の安定・増加に資するため、学生・生徒・園児の募集活動を強化します。Mission3では、地域社会との共生のため、「地域総キャンパス」を掲げ、地域社会と連携した教育改革を進めています。

◇ 施設等の状況

主な施設設備の状況は次のとおりです。

種別	所在地	土地面積	建物面積
北陵校地	北九州市小倉北区井堀	55,216㎡	39,947㎡
	北九州市小倉北区下到津	3,514㎡	3,877㎡
南陵校地	北九州市小倉北区上到津	32,979㎡	14,453㎡
	北九州市小倉北区都	1,106㎡	—
河内校地	北九州市八幡東区河内	24,902㎡	1,544㎡
	計	117,717㎡	59,821㎡

○ 決算について（千円以下四捨五入の関係で合計など数値が計算上一致しない場合があります。）

本法人の会計年度は、寄附行為第39条に規定されており、2024年度決算における会計期間は、2024年4月1日から2025年3月31日までの1年間としています。また、当決算は、2023年9月の予算基本方針承認、2024年3月の当初予算承認、2024年9月の補正予算承認を経て執行されてまいりました結果を私立学校法及び学校法人会計基準に則り、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表により表しています。

(1) 資金収支計算書

この計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、①毎会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにすること及び②当該会計年度における支払資金（現金及びいつでも引き出すことができる預貯金）の収入及び支出のてん末を明らかにすることを目的とし、本法人の財政規模や資金の源泉、使途を表すものです。

当年度は、前年度繰越支払資金2億9,174万円に当年度資金収入43億1,871万円を加えた46億1,046万円が収入合計（財政規模）となりました。この収入合計から当年度資金支出41億8,960万円を差し引いた翌年度繰越支払資金は、4億2,079万円（期首比1億2,905万円増加）となりました。

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、企業会計における損益計算書に相当し、収支の均衡が取れているかを判断するとともに、純資産の増減を表す計算書です。学校法人は、営利を目的とはしませんが、永続的な運営を求められており、そのためには事業活動収支の均衡の確保も必要な条件となります。「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」という三区分別経理が導入され、合わせて当年度の収支差額を表示した後に基本金組入額を差し引くことになっています。

教育活動収支は、学校の教育・研究活動に関する収支で、教育活動外収支は、学校の教育活動を側面から支える財務活動及び収益事業活動に関する収支です。この教育活動収支と教育活動外収支は共に経常的な収支ですので、両者を合計したものを「経常収支差額」として表示し、経常的な事業活動が安定的であるかを判断する指標になります。加えてこの計算書には、退職給与引当金繰入額や減価償却額などの非資金も計上されます。特別収支は、学校法人にとって当該会計年度に臨時に発生した事業活動収支であり、収入では資産の売却益があったときの資産売却差額や施設設備に関する寄付金、補助金、現物寄付等が、支出では資産の売却損があったときの資産処分差額や災害損失等が計上され、その差異は「特別収支差額」として表示されます。

当年度の経常収支差額（教育活動収支及び教育活動外収支）は、5億5,143万円の支出超過。これに特別収支差額の27万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、5億5,116万円の支出超過となりました。これから基本金組入額 7,334万円を差し引いた当年度収支差額は、6億2,450万円の支出超過となり、前年度繰越収支差額△20億4,076万円と基本金取崩額1,016万円を加え、翌年度繰越収支差額は、26億5,510万円の支出超過となりました。

(3) 貸借対照表

資金収支計算書や事業活動収支計算書が一会計年度の収支状況を表しているのに対して、貸借対照表は、一会計年度末における学校法人の財政状態（財産の状態）を表示する計算書です。「資産の部」、「負債の部」、「純資産の部」で構成されており、純資産の部は、基本金及び繰越収支差額からなり、保有する資産の調達源泉（自己資金か他人資金か）が明示されています。

・資産の部

「固定資産」は、90億6,380万円（土地、建物、構築物などの有形固定資産52億2,585万円、用途が特定されている預金や有価証券等の特定資産38億621万円及びその他の固定資産3,173万円）、「流動資産」は、現金預金4億2,079万円に未収入金、貯蔵品、前払金などを加え6億4,920万円。以上、資産の部合計（総資産）は、97億1,300万円となりました。

・負債の部

退職給与引当金などの「固定負債」8億9,221万円及び未払金や前受金などの「流動負債」3億8,068万円の合計による総負債は、前年度末に比べ845万円減少し、12億7,290万円となりました。

・純資産の部

純資産（自己資金）は、「基本金」合計110億9,521万円と「繰越収支差額」△26億5,510万円の合計で84億4,011万円となりました。

・貸借対照表前年比

総資産は5億5,961万円減少、総負債は845万円減少しました。純資産（自己資金）は、前年度末89億9,127万円、当年度末84億4,011万円と5億5,116万円減少しました。なお、当年度末の純資産構成比率は、86.9%（前年度87.5%）です。

※2024年度の本学院の当年度の経営状況を表す事業活動収支差額比率は法人全体で△22.4%（前年度末△16.4%）となり、前年度と同様大きく悪化した状況は変わらず、収支状況及び資産の減少とともに厳しい状況が続いています。まずは収入の増加に努め、併せて経費の削減と予算の選択を適切に行い、早急に財政の改善に努める必要があります。

2. 財務の概要（2024年度予算の主な執行状況）

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1) 資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金(現金預金)の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

資金収支総括表

【科目の説明です。】

		(収入の部)			
		(単位:千円)			
		科目	予算	決算	差異
<p>学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。</p> <p>国や地方公共団体からの助成金です。</p> <p>翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。</p> <p>長期、短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額などです。</p> <p>収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れていた収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。</p>	学生生徒等納付金収入	1,546,286	1,563,249	△ 16,963	
	手数料収入	22,442	23,186	△ 744	
	寄付金収入	29,062	32,866	△ 3,804	
	補助金収入	466,054	532,008	△ 65,954	
	資産売却収入	0	0	0	
	付随事業・収益事業収入	22,758	25,162	△ 2,404	
	受取利息・配当金収入	18,843	19,711	△ 868	
	雑収入	200,808	238,068	△ 37,260	
	借入金等収入	0	0	0	
	前受金収入	354,715	287,924	66,791	
その他の収入	1,294,093	2,097,577	△ 803,484		
資金収入調整勘定	△ 464,137	△ 501,031	36,894		
当年度資金収入合計	3,490,923	4,318,718	△ 827,795		
前年度繰越支払資金	291,742	291,742			
収入の部合計	3,782,666	4,610,460	△ 827,795		
		(支出の部)			
		科目	予算	決算	差異
<p>土地、建物、構築物等を取得するための支出です。</p> <p>教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。</p> <p>より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。</p> <p>支出として計上したが未払いとなっているものや、前払金として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。</p>	人件費支出	2,006,000	2,040,315	△ 34,315	
	教育研究経費支出	658,088	609,955	48,133	
	管理経費支出	117,788	130,852	△ 13,064	
	借入金等利息支出	0	0	0	
	借入金等返済支出	0	0	0	
	施設関係支出	63,794	68,798	△ 5,004	
	設備関係支出	29,893	29,402	491	
	資産運用支出	50,086	526,488	△ 476,402	
	その他の支出	773,053	831,269	△ 58,216	
	資金支出調整勘定	△ 34,067	△ 47,413	13,347	
当年度資金支出合計	3,664,636	4,189,666	△ 525,030		
翌年度繰越支払資金	118,030	420,795	△ 302,765		
支出の部合計	3,782,666	4,610,460	△ 827,795		
当年度資金収支差額	△ 173,712	129,053	△ 302,765		

入学者数の減少は本学の財政に大きく影響を当てています。

補助金収入には、2020年度から開始された高等教育の修学支援による授業料等減免費交付金と幼児教育無償化における施設型給付費(幼稚園)が含まれています。

学生数の減少と、短大部の学生募集停止により前受金収入が減少。収入の部の合計にも大きく関わっています。

主に、支払資金組入のための引当特定資産取崩による収入です。

教職員の人件費は減少していますが退職者の増加により退職金支出が増加しています。

110周年事業に係る広報の印刷製本費支出、大学事務の派遣職員による支払手数料支出が増加しました。

本年度の事業である6号館・図書館空調システム更新工事(Ⅱ期)、中庭整備工事等が主な支出となりました。

* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。なお、以下の表についても同様です。

学校会計について

学校法人は、教育研究活動を目的とし、その経費の多くは学生生徒等納付金、補助金、寄付金等により賄われているきわめて公共性の高い法人で、営利を目的とする企業とは異なります。

公共性が高い学校法人が教育研究活動を継続して行い永続的に存続していくためには、収支の均衡状況と財政状態を正しく捉え健全な経営を行わなければなりません。そのため学校法人会計は、文部科学省令により定められた「学校法人会計基準」に基づき経理処理が行われ、計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属する内訳表、明細表)を作成しなければなりません。

一方、企業会計では、損益計算書と貸借対照表そして上場企業においてはキャッシュフロー計算書が作成されます。企業会計では、収益と費用を正しく捉えて損益を計算し、併せて企業の財政状態(資産、負債及び資本)を知ることで、より収益力を高め、財政的安全性を図ることを目的としています。

(3) 事業活動収支

事業活動収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- ① 当該会計年度の活動に対応する事業活動収入及び活動支出の内容を明らかにする。
- ② 当該会計年度の基本金組入後の均衡の状態を明らかにする。
- ・事業活動収入とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入として計算するものとする。
- ・事業活動支出とは、当該年度において消費する資産の取得価格及び当該会計年度における用役の対価に基づいて計算するものとする。

事業活動収支計算について、その主な内容をご報告します。

事業活動収支総括表

(単位:千円)

科目		予算	決算	増減
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	1,546,286	1,563,249	△ 16,963
	手数料	22,442	23,186	△ 744
	寄付金	29,062	32,965	△ 3,903
	経常費等補助金	466,054	532,008	△ 65,954
	付随事業収入	22,758	25,162	△ 2,404
	雑収入	200,808	263,272	△ 62,464
	教育活動収入計	2,287,410	2,439,841	△ 152,431
事業活動支出の部	人件費	2,059,513	2,085,612	△ 26,099
	教育研究経費 (うち、減価償却額)	836,707	789,028	47,679
	管理経費 (うち、減価償却額)	178,619	178,629	△ 10
	管理経費	123,005	135,851	△ 12,846
	徴収不能額等	5,217	5,288	△ 71
	徴収不能額等	0	495	△ 495
教育活動支出計	3,019,225	3,010,986	8,239	
教育活動収支差額		△ 731,815	△ 571,145	△ 160,670
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	18,843	19,711	△ 868
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	18,843	19,711	△ 868
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額		18,843	19,711	△ 868
経常収支差額		△ 712,972	△ 551,434	△ 161,538
特別収入の部	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	0	2,620	△ 2,620
	特別収入計	0	2,620	△ 2,620
	資産処分差額	0	2,152	△ 2,152
	その他の特別支出	0	196	△ 196
特別支出計	0	2,349	△ 2,349	
特別収支差額		0	271	△ 271
基本金組入前当年度収支差額		△ 712,972	△ 551,163	△ 161,809
基本金組入額合計		△ 61,145	△ 73,337	12,192
当年度収支差額		△ 774,117	△ 624,499	△ 149,618
前年度繰越収支差額		△ 2,040,761	△ 2,040,761	0
基本金取崩額		1,050	10,161	△ 9,111
翌年度繰越収支差額		△ 2,813,828	△ 2,655,100	△ 158,728

(参考)			
事業活動収入計	2,306,253	2,462,172	△ 155,919
事業活動支出計	3,019,225	3,013,335	5,890

※経常収入＝教育活動収入＋教育活動外収入＝2,459,551千円
 ※経常支出＝教育活動支出＋教育活動外支出＝3,010,986千円

雑収入には私学退職金団体交付金収入が含まれます。

教職員に支払われる給与などです。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。教育研究経費の中には減価償却額が含まれます。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

学生生徒等納付金の納付困難、貸付金の回収不能に備え、見込額を引当金として準備します。

事業活動収入から事業活動支出を差し引いたものであり純資産の増加を示します。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、基本金組入前当年度収支差額から差し引く金額です。

学生生徒等納付金は収入(経常収入)の63.6%となっていますが2020年度より施設型給付の幼稚園に移行したため、幼稚園の園納金は補助金に含まれます。

退職者の増加による私学退職金団体交付金の収入増加が主なものとなっています。

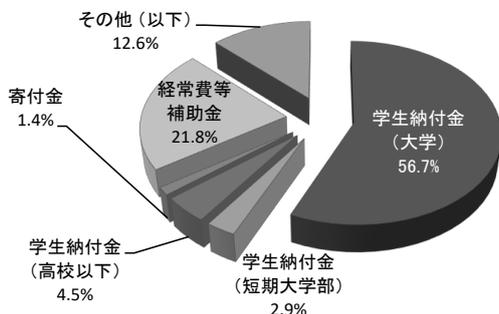
退職給与引当金繰入額2億5,870万円を含みます。

予算と比較すると経常収支差額は経常収入の増加と経常支出の減少に伴い1億3,543万円改善されたものの、厳しい状況となっています。

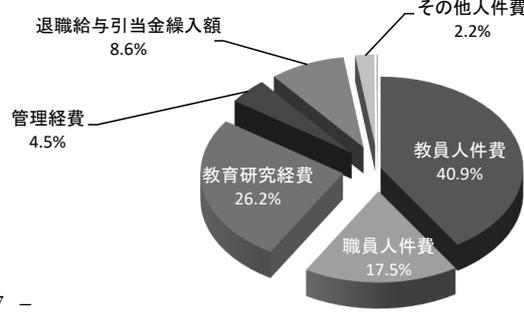
資産処分差額には、大学5号館空調設備及び高棟棟の空調設備の更新に伴う旧設備、大学中庭整備によるコンクリートブロック等の不動産処分が含まれます

基本金組入前当年度収支差額に基本金を組み入れた当年度収支差額は6億5,061万円の支出超過となりました。

経常収入(2,459,551千円)の構成比率



経常支出(3,010,986千円)の構成比率



(4) 貸借対照表

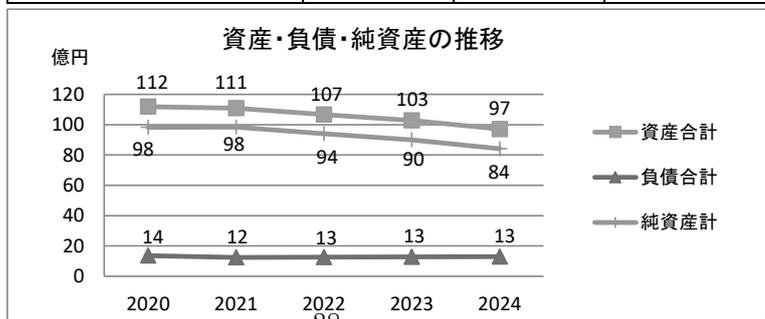
- ① 貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・純資産及び消費収支差額の項目があります。
 - ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。
 - ・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
 - ・基本金及び繰越収支差額は、返済の必要のない学校法人の純資産です。
- 貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

【科目の説明です。】

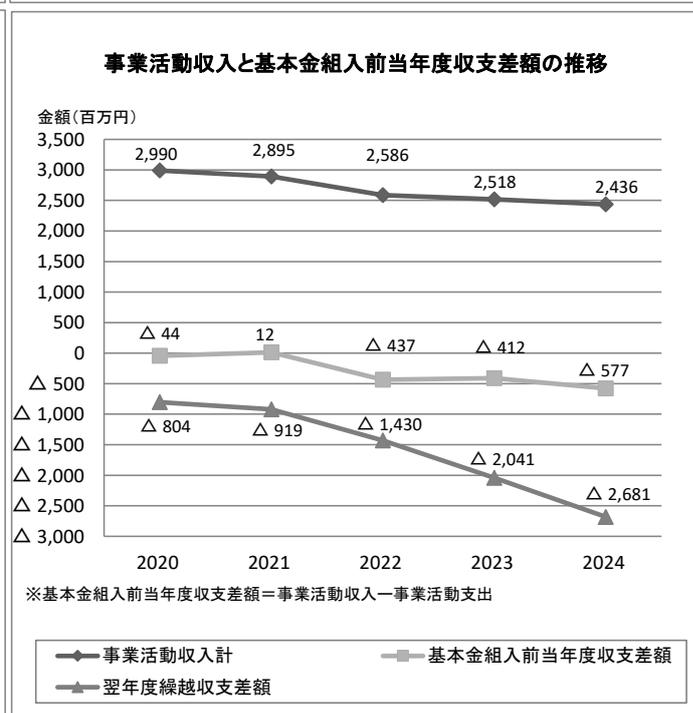
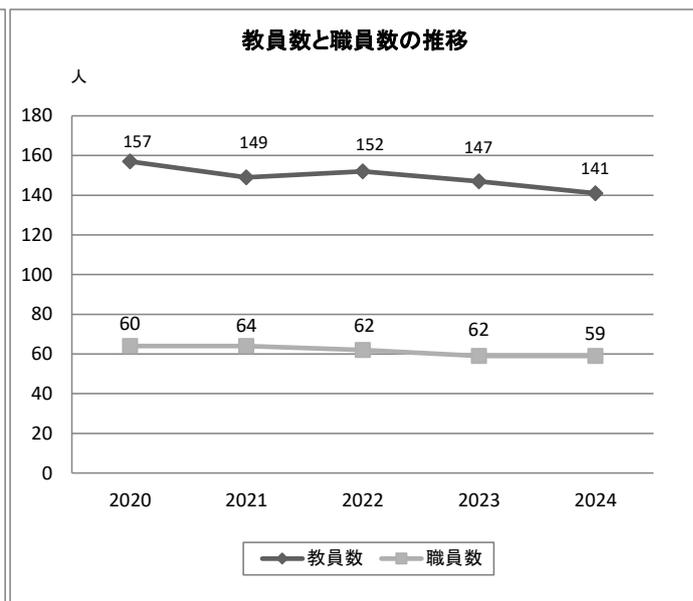
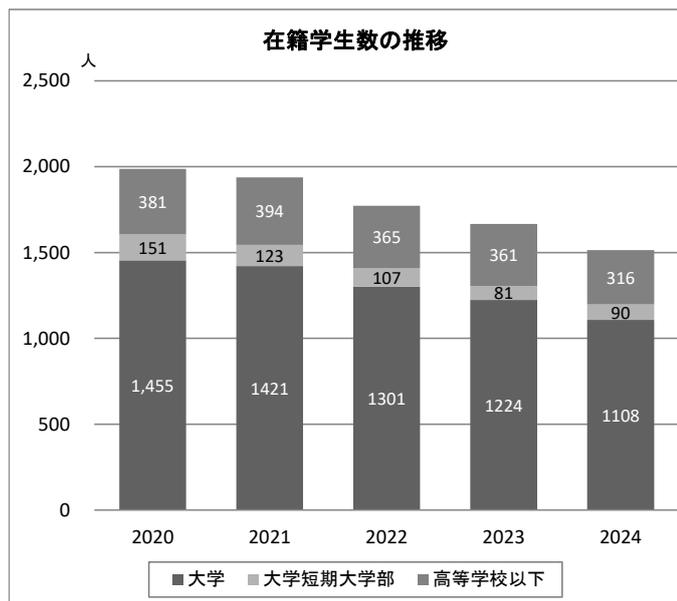
貸借対照表

資産の部		(単位:千円)		
科目	本年度末	前年度末	増減	
校地、校舎、体育館などの建物及び建物付属設備(空調など)の額のことです。	9,063,802	9,823,078	△ 759,276	2024年度の事業計画である6号館屋上移動式粉末消火設備工事、7号館給水加圧ポンプ取替工事、中庭整備工事、5号館演習室空調機取替工事、図書館情報管理システム、グランド横路盤修正工事(中高)等を行いました。6号館・図書館空調システム更新工事については、建設仮勘定に計上しております。
教育研究のために使用される機械設備などの額です。	5,225,855	5,312,010	△ 86,155	
将来に備えて積み立てている資産のことです。	3,806,213	4,475,849	△ 669,636	
学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。	31,734	35,218	△ 3,485	
現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金の額のことです。	649,204	449,544	199,660	
決算日(3月31日)における退職資金交付額、補助金額等の未収額です。	221,563	150,958	70,605	
返済期限が1年以上の借入金の額のことです。	892,214	886,273	5,940	
2024年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。	0	0	0	
返済期限が1年以内の借入金です。	380,683	395,076	△ 14,393	
翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などの額のことです。	287,924	278,973	8,951	
財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ持続的に経営していくために必要な額です。	11,095,209	11,032,033	63,176	
	△ 2,655,100	△ 2,040,761	△ 614,339	
	8,440,109	8,991,272	△ 551,163	
	9,713,006	10,272,622	△ 559,616	
	649,204	449,544	199,660	年度末退職者への退職金財団及び福岡県私学教育振興会からの給付金、国・県・市からの補助金・助成金等を未収入金として計上しています。
	420,795	291,742	129,053	
	221,563	150,958	70,605	
	614	864	△ 251	
	4,408	4,222	186	
	1,709	1,686	23	
	117	72	45	
	9,713,006	10,272,622	△ 559,616	
	892,214	886,273	5,940	
	0	0	0	
	46,088	59,336	△ 13,248	
	846,126	826,938	19,188	
	380,683	395,076	△ 14,393	
	0	0	0	
	56,427	71,027	△ 14,600	
	287,924	278,973	8,951	
	30,772	36,767	△ 5,995	
	5,560	8,309	△ 2,749	
	1,272,897	1,281,350	△ 8,453	
	11,095,209	11,032,033	63,176	
	△ 2,655,100	△ 2,040,761	△ 614,339	
	8,440,109	8,991,272	△ 551,163	
	9,713,006	10,272,622	△ 559,616	
	892,214	886,273	5,940	現在、借入金はありません。
	0	0	0	
	46,088	59,336	△ 13,248	負債が1,766万円増加しました。
	846,126	826,938	19,188	
	380,683	395,076	△ 14,393	純資産が5億5,116万円減少しました。
	0	0	0	
	56,427	71,027	△ 14,600	
	287,924	278,973	8,951	
	30,772	36,767	△ 5,995	
	5,560	8,309	△ 2,749	
	1,272,897	1,281,350	△ 8,453	
	11,095,209	11,032,033	63,176	
	△ 2,655,100	△ 2,040,761	△ 614,339	
	8,440,109	8,991,272	△ 551,163	
	9,713,006	10,272,622	△ 559,616	

減価償却額の累計額	5,520	5,401	119
基本金未組入額	68	87	△ 18



(5) 学生数・財務比率などの推移



計算書類について

資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、教育・研究活動(教育活動)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

貸借対照表

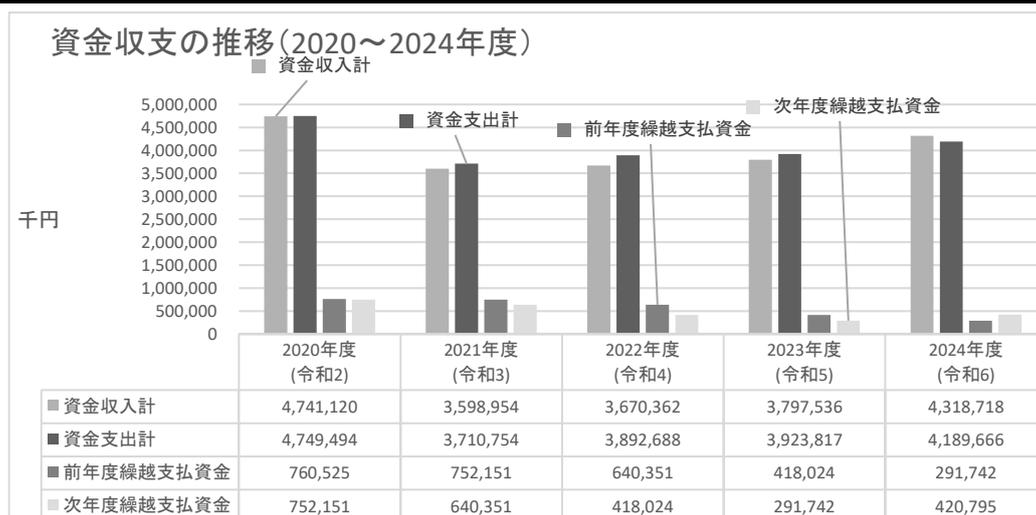
当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態を表すものです。

○ 資金収支の推移(学校法人)

ア) 資金収支の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,085,612	1,982,524	1,804,966	1,718,858	1,563,249
	手数料収入	26,376	25,433	26,244	22,736	23,186
	入学検定料	23,908	21,950	22,729	20,079	20,779
	寄付金収入	50,107	49,658	42,442	40,188	32,866
	補助金収入	622,017	582,295	540,993	521,344	532,008
	資産売却収入	0	0	0	0	0
	附属事業・収益事業収入	11,964	20,863	22,193	24,036	25,162
	受取利息・配当金収入	22,939	18,163	18,428	19,623	19,711
	雑収入	153,212	162,308	128,881	166,803	238,068
	借入金等収入	0	0	0	0	0
	前受金収入	329,677	285,707	274,628	278,973	287,924
	その他の収入	1,994,286	969,167	1,207,596	1,431,324	2,097,577
	資金収入調整勘定	△ 555,069	△ 497,164	△ 396,010	△ 426,351	△ 501,031
	資金収入計	4,741,120	3,598,954	3,670,362	3,797,536	4,318,718
	前年度繰越支払資金	760,525	752,151	640,351	418,024	291,742
合計	5,501,645	4,351,105	4,310,712	4,215,560	4,610,460	
支出の部	人件費支出	2,114,603	2,069,566	2,046,994	2,031,097	2,040,315
	教育研究経費支出	580,271	525,070	600,140	597,510	609,955
	管理経費支出	105,462	123,062	164,561	144,164	130,852
	借入金等利息支出	0	0	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0	0	0
	施設関係支出	129,096	94,872	39,648	205,991	68,798
	設備関係支出	33,808	34,198	48,487	86,062	29,402
	資産運用支出	1,022,530	131,217	264,632	63,800	526,488
	その他の支出	801,380	768,264	789,561	900,881	831,269
	資金支出調整勘定	△ 37,657	△ 35,495	△ 61,335	△ 105,689	△ 47,413
	資金支出計	4,749,494	3,710,754	3,892,688	3,923,817	4,189,666
	次年度繰越支払資金	752,151	640,351	418,024	291,742	420,795
合計	5,501,645	4,351,105	4,310,712	4,215,560	4,610,460	



○ 資金収支の推移(学校法人)

イ)活動区分資金収支の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,905,769	2,796,260	2,559,412	2,492,180	2,413,632
教育活動資金支出計	2,799,832	2,716,114	2,810,784	2,772,759	2,780,925
差引	105,938	80,147	△ 251,372	△ 280,579	△ 367,293
調整勘定等	△ 83,037	△ 56,916	20,956	△ 32,377	△ 68,688
教育活動資金収支差額	22,901	23,231	△ 230,417	△ 312,956	△ 435,981
施設整備等活動による資金収支					
施設整備活動資金収入計	522,923	24,774	744	281,786	715,676
施設整備活動資金支出計	628,310	130,072	98,136	302,054	108,205
差引	△ 105,386	△ 105,298	△ 97,392	△ 20,268	607,472
調整勘定等	12,768	7,352	23,521	36,486	△ 18,260
施設設備等活動資金収支差額	△ 92,618	△ 97,945	△ 73,871	16,219	589,212
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 69,717	△ 74,714	△ 304,287	△ 296,738	153,230
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,369,379	817,567	1,064,976	1,062,902	1,251,559
その他の活動資金支出計	1,308,036	854,653	983,015	892,446	1,275,736
差引	61,343	△ 37,086	81,961	170,456	△ 24,177
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	61,343	△ 37,086	81,961	170,456	△ 24,177
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 8,374	△ 111,800	△ 222,327	△ 126,282	129,053
前年度繰越支払資金	760,525	752,151	640,351	418,024	291,742
翌年度繰越支払資金	752,151	640,351	418,024	291,742	420,795

活動区分の種類

活動区分	説 明
教育活動	学校法人の本業である教育活動の収支を中心として、「施設整備等 活動」および「その他の活動」以外のすべての資金収入および資金支出
施設整備等活動	施設もしくは設備の取得または売却、その他、資産価値の増加を伴う改修等にかかる資金収入および資金支出
その他の活動	財務活動、収益事業活動、経過勘定、過年度修正額

○ 事業活動収支の推移

(教育活動収支)

(単位：千円)

科 目	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
学 生 生 徒 等 納 付 金	2,085,612	1,982,524	1,804,966	1,718,858	1,563,249
手 数 料	26,376	25,433	26,244	22,736	23,186
寄 付 金	50,107	49,658	42,617	40,739	32,965
経 常 費 等 補 助 金	578,499	557,521	540,249	519,558	532,008
付 随 事 業 収 入	11,964	20,863	22,193	24,036	25,162
雑 収 入	154,421	213,583	124,494	166,803	263,272
教 育 活 動 収 入 計	2,906,979	2,849,583	2,560,763	2,492,731	2,439,841
人 件 費	2,159,478	2,063,232	2,079,528	2,006,254	2,085,612
教 育 研 究 経 費	739,059	689,716	768,195	768,515	789,028
う ち、 減 価 償 却 額	158,350	164,106	167,402	170,644	178,629
管 理 経 費	109,826	125,619	168,026	149,742	135,851
う ち、 減 価 償 却 額	5,017	5,110	4,965	4,867	5,288
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	860	874	2,259	765	495
教 育 活 動 支 出 計	3,009,223	2,879,442	3,018,008	2,925,276	3,010,986

(教育活動外収支)

受 取 利 息 ・ 配 当 金	22,939	18,163	18,428	19,623	19,711
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 収 入 計	22,939	18,163	18,428	19,623	19,711
借 入 金 等 利 息	0	0	0	0	0
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	0	0
教 育 活 動 外 支 出 計	0	0	0	0	0

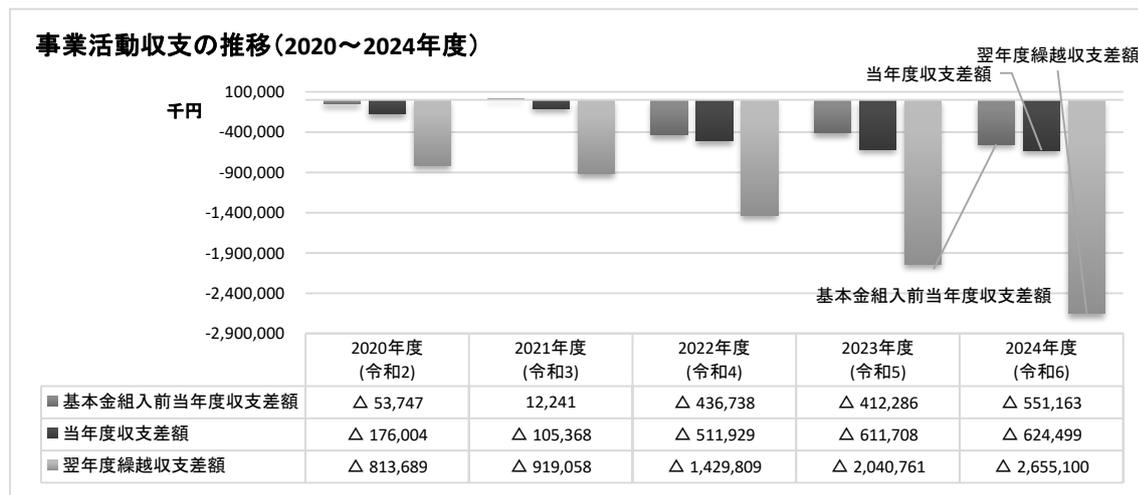
(特別収支)

資 産 売 却 差 額	15,000	0	0	0	0
そ の 他 の 特 別 収 入	45,162	27,540	6,975	5,908	2,620
特 別 収 入 計	60,162	27,540	6,975	5,908	2,620
資 産 処 分 差 額	34,099	2,018	3,983	5,259	2,152
そ の 他 の 特 別 支 出	506	1,584	911	13	196
特 別 支 出 計	34,605	3,602	4,895	5,272	2,349

基本金組入前当年度収支差額	△ 53,747	12,241	△ 436,738	△ 412,286	△ 551,163
経常収支差額	△ 79,304	△ 11,696	△ 438,818	△ 412,922	△ 551,434
教育活動収支差額	△ 102,244	△ 29,859	△ 457,246	△ 432,546	△ 571,145
教育活動外収支差額	22,939	18,163	18,428	19,623	19,711
特別収支差額	25,557	23,938	2,080	637	271
基本金組入額合計	△ 122,257	△ 117,610	△ 75,192	△ 199,423	△ 73,337
当年度収支差額	△ 176,004	△ 105,368	△ 511,929	△ 611,708	△ 624,499
前年度繰越収支差額	△ 735,947	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809	△ 2,040,761
基本金取崩額	98,262	0	1,178	756	10,161
翌年度繰越収支差額	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,809	△ 2,040,761	△ 2,655,100

(参考)

事業活動収入計	2,990,080	2,895,285	2,586,165	2,518,263	2,462,172
事業活動支出計	3,043,827	2,883,044	3,022,903	2,930,548	3,013,335



○ 貸借対照表の推移(学校法人)

(単位：千円)

資産の部					
科 目	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
固 定 資 産	10,258,997	10,270,171	10,138,413	9,823,078	9,063,802
有 形 固 定 資 産	5,325,596	5,284,152	5,196,604	5,312,010	5,225,855
特 定 資 産	4,896,265	4,950,146	4,896,654	4,475,849	3,806,213
そ の 他 の 固 定 資 産	37,135	35,873	45,155	35,218	31,734
流 動 資 産	928,446	811,899	536,687	449,544	649,204
合 計	11,187,443	11,082,070	10,675,101	10,272,622	9,713,006

負債・基本金及び繰越収支差額の部					
科 目	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)	2024年度 (令和6)
負 債	1,359,389	1,241,774	1,271,543	1,281,350	1,272,897
固 定 負 債	922,746	850,418	880,782	886,273	892,214
流 動 負 債	436,642	391,357	390,761	395,076	380,683
基 本 金	10,641,743	10,759,353	10,833,366	11,032,033	11,095,209
繰 越 収 支 差 額	△ 813,689	△ 919,058	△ 1,429,808	△ 2,040,761	△ 2,655,100
純 資 産 の 部 合 計	9,828,053	9,840,295	9,403,558	8,991,272	8,440,109
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	11,187,443	11,082,070	10,675,101	10,272,622	9,713,006

減価償却額の累計額の合計	5,000,281	5,144,812	5,293,285	5,400,696	5,519,667
基本金未組入額	62,721	51,330	50,327	86,564	68,304



主な財務比率等の推移

(1) 事業活動収支計算書関係比率

(単位: %)

分類	財務比率	算式	評価	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△	-1.8	0.4	-16.9	-16.4	-22.4
		事業活動収入計						
収入構成は どうなっているか	学生生徒納付金比率	学生生徒納付金	△	71.2	69.1	70.0	68.4	63.6
		経常収入(※1)						
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金	△	1.7	1.7	1.7	1.6	1.3
		経常収入						
	経常費補助金比率	経常費補助金	△	19.7	19.4	20.9	20.7	21.6
		経常収入						
支出構成は適切か	人件費比率	人件費	▼	73.7	71.9	80.6	79.9	84.8
		経常収入						
	教育研究経費比率	教育研究費	△	25.2	24.1	29.8	30.6	21.1
		経常収入						
	管理経費比率	管理経費	▼	3.7	4.4	6.5	6.0	5.5
		経常収入						
収入と支出の バランス	人件費依存率	人件費	▼	103.5	104.1	115.2	116.7	133.4
		学生生徒納付金						
	基本金組入後収支比率	事業活動支出	▼	106.1	103.8	120.4	126.4	126.1
		事業活動収入計-基本金組入額						

※1 経常収入=教育活動収入計+教育活動外収入計

(2) 貸借対照表関係比率の推移

分類	財務比率	算式	評価	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
自己資本は 充実しているか	純資産構成比率	純資産	△	87.8	88.8	88.1	87.5	86.9
		負債+純資産						
	基本金比率	基本金	△	99.4	99.5	99.5	99.2	99.4
		基本金要組入額						
資産構成は どうなっているか	流動資産構成比率	流動資産	△	8.3	7.3	5.0	4.4	6.7
		総資産						
負債に備える資産が 蓄積されているか	流動比率	流動資産	△	212.6	207.5	137.4	113.8	170.5
		流動負債						
負債の割合は どうか	負債比率	総負債	▼	13.8	12.6	13.5	14.3	15.1
		純資産						
将来の安全性	積立率	運用資産(※1)	△	93.8	91.5	84.3	74.5	64.6
		要積立額(※2)						

※1 運用資産=現金預金+特定資産+有価証券

※2 要積立額=減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基本金+第3号基本金

評価基準 「△」:値は高い方が良い。「▼」:値は低い方が良い。